

令和7年度里庄町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議における主な意見

開催日時：令和8年3月26日（木） 10時30分から11時40分

資料1 第4次里庄町振興計画（後期基本計画）の取り組み状況について

基本目標1：元気でいきいきと暮らせるまち【保健・医療・福祉】

○子育て支援の充実

幼稚園預かり保育利用人数と学童保育利用人数の評価について、預けたい方が全員利用できている状況であるのであれば評価はもう少し高くてもよいのではないかとの意見が述べられた。

基本目標6：活力と魅力あふれる元気なまち【産業】

○農業の振興

周辺地域でも耕作放棄地が増えており、現在、農地のどの程度が実際に耕作されているのか、今後の農業振興が可能なのかについて疑問が示された。

また、池の廃止に関連し、ため池の扱いについて、歴史的資産を失ってよいのかという懸念が示された。地域には休耕田や耕作放棄地が多く存在する一方で、ため池や用水路は地域作業により維持管理が続けられていることから、こうした地域の取り組みも踏まえた検討を求める意見が述べられた。

基本目標7：町民とともに創る持続可能なまち【町民参加・行財政】

○協働のまちづくりの推進

各分館において、若い世代が新たな事業を企画しても、活動には資金が必要であることから、活用可能な支援制度等の情報提供を求める声があるとの報告があった。また、役場の情報が分館や地域住民に十分伝わっていないとの指摘があり、成功事例の共有や、分館長を通じた周知の強化を求める意見が述べられた。

分館における取組について、各分館の成功事例やコミュニケーションの活性化に向けた事例などを共有できる場を設けたらどうかとの意見があった。

資料2 総合戦略（里庄町デジタル田園都市構想）について

重点施策2：魅力あるまちをつくり、人口流入を促進する【社会減対策】

毎年、開発区画があり、宅地開発は人口増加に直結する重要な施策であるとの意見が述べられた。今後、開発行為の件数をさらに増やすための施策や取り組みについて紹介を求めるとともに、引き続き継続的な開発推進を要望する旨が示された。

重点施策5：デジタル技術の活用により、地域課題を解決し、持続可能な地域へ成長する【DXの推進】

技術進歩の速度が速く、バージョンアップにより既存機器が早期に使用不能となる可能性が指摘された。これにより、償却期間満了に更新が必要となり、町に大きな財政負担が生じる懸念が示され、DX推進にあたっては更新時期や予算措置を慎重に検討する必要があるとの意見が述べられた。役所内では外部の先進技術の導入状況の把握が難しいため、専門知識を持つ関係者の意見を取り入れながら検討を進める必要があるとの指摘があり、民間の動向を踏まえた対応が求められるとの意見が述べられた。